

Ⅲ 資料編

1. 後期基本計画の策定経過 ……………111
2. 後期計画6カ年度の財政見通し………127
3. 政策・施策の目標指標一覧……………128

1. 後期基本計画の策定経過

【1】大河原町まちづくり審議会

町内外の有識者と、公募委員により、後期基本計画に関する審議を行いました。委員は男性7名、女性7名の14名で構成され、そのうち公募委員は3名となっています。

○大河原町まちづくり審議会委員

氏名	部門	所属
佐藤 敏徳（会長）	観光	大河原町観光物産協会 会長
岩淵 礼子（副会長）	子ども	NPO 法人 子ども育成支援団体キハト会 理事長
松崎 信三	地域	小島区長
武藤 大輔（～R5. 5. 23）	商工	大河原町商工会青年部 部長
菅野 貴志（R5. 5. 24～）		
小山 明子	教育	大河原町教育委員
松井 誠子	農業	大河原町農地利用最適化推進委員
古山 哲也	社会福祉	大河原町社会福祉協議会 事務局次長
加藤 義和	都市計画	加藤義和土地家屋調査士事務所 代表
玉淵 博之	文化	仙南芸術文化センター 館長
本木 仁	障害福祉	一般社団法人ふくのね 代表理事
平間 恵	町外者	STORY HEART 代表
安藤 あき子	公募住民	
長山 薫子	公募住民	
橋本 鮎子	公募住民	

○審議会内容

回・日程	主な協議内容
第1回（令和4年10月13日）	・後期基本計画策定について ・住民満足度調査の内容について
第2回（令和5年2月14日）	・住民満足度調査の結果について ・基本計画体系別「今後の重点事項等」について
第3回（令和5年6月14日）	・後期基本計画策定に係る地区懇談会について ・専門部会による後期基本計画の計画案作成作業について
第4回（令和5年9月5日）	・後期基本計画素案（序論・第1章～第6章）について
第5回（令和5年10月16日）	・後期基本計画素案について ・後期基本計画に対する審議会答申について

【2】後期基本計画諮問

大政第 273 号
令和5年9月1日

大河原町まちづくり審議会
会長 佐藤敏徳 殿

大河原町長 齋 清 志

第6次大河原町長期総合計画・後期基本計画の策定について(諮問)

令和6年度から令和11年度までの標記後期基本計画の策定について、貴審議会の意見を求めます。

【3】後期基本計画答申

令和5年10月26日

大河原町長 齋 清志 殿

大河原町まちづくり審議会
会長 佐藤 敏 徳

第6次大河原町長期総合計画・後期基本計画(案)について(答申)

令和5年9月1日付け大政第273号で諮問のありました、第6次大河原町長期総合計画・後期基本計画(案)について、慎重に審議した結果、長期総合計画の基本構想を具現化するための政策・施策の目指すべき方向性、政策展開として適切なものと認めます。なお、後期基本計画の推進にあたっては、下記の事項に十分留意されることを要望します。

記

- 1 人口減少、少子高齢化の対策に加え、希薄化する地域コミュニティ、安心して出産・子育てができる環境、地域共生の意識醸成、誰もが健康で元気になるための対策など、課題解消に向けて長期的な視点を持って持続的な政策・施策に努めること。
- 2 国際的な持続可能な開発目標「SDGs」の推進、地球温暖化対策、また、デジタル化の普及、ジェンダー平等社会の理解などの時代の潮流に関し、町の政策・施策で対応しながら、住民の活動・対応等において認識が深められるよう努めること。
- 3 白石川右岸河川敷等整備やスポーツを活用したまちづくり、一目千本桜ブランド化など、住民が関わり機運を増幅していく事業については、常に情報発信を行い、共に意識を醸成していける郷土愛やシビックプライドにつなげていくこと。
- 4 政策・施策を推進する際には、住民の暮らし及び活動、地域の活動を踏まえて、住民と行政のつながりを深めながら進めること。人と人、人と地域、地域と地域のつながりを持続するために、自助・共助・公助の関係性を保ちつつ、地域づくりを支援すること。
- 5 仙南地域全体の地域振興として、周辺市町と密に連携する中で、共通課題の解消に対しリーダーシップを持って取り組むこと。また、地元企業等とのパートナーシップを構築しながら、地域づくりにおいて官民連携を図っていくこと。
- 6 計画が進行中でも、自然災害、国際紛争、感染症蔓延、物価高騰など社会情勢の影響により、住民の暮らしに停滞があった際には、ニューノーマル(新しい日常・創造)の時代を見据え、住民の暮らしを守ることを最優先とした対応に取り組むこと。

【4】後期基本計画策定に係る庁議等調整

課長級以上の職員による会議(庁議・課長会議)において、後期基本計画の策定調整を行いました。

○庁議構成員

所属・職名	氏名 (令和4年度)	令和5年度 (異動後)	備考
町長	齋 清志		
副町長	藤田 秀明		
教育長	鈴木 洋		
会計管理者	瀬戸 恵美		
総務課長	菊地 仁美		
企画財政課長	長谷川 一正	吉野 卓朗	政策企画課新設
税務課長	佐々木 玲子	菊地 芳徳	
町民生活課長	菊地 芳徳	佐々木 玲子	
福祉課長	櫻田 尚	長谷川 早苗	
健康推進課長	菊地 雅子		
子ども家庭課長	斎藤 直美		
農政課長	斎藤 郁夫	高橋 正志	
商工観光課長	菅野 敏洋		
地域整備課長	小原 元紀		
上下水道課長	八重樫 茂		
スポーツまちづくり推進課長		前元 一也	課新設
教育総務課長	佐藤 勝弘	櫻田 尚	
生涯学習課長	木村 武俊		
議会事務局長	齋 修		

○計画原案の協議内容

月日	主な協議内容
令和4年9月28日	・第6次大河原町長期総合計画(令和元年度～11年度)・後期基本計画策定について(趣旨・スケジュール等)
令和5年2月2日	・後期基本計画策定に係る住民満足度調査結果について
令和5年4月20日	・後期基本計画策定に係る専門部会委員の推薦について
令和5年5月9日	・後期基本計画策定に係る地区懇談会資料(重点政策)について
令和5年6月15日	・後期基本計画策定に係る地区懇談会の開催について
令和5年7月5日	・後期基本計画策定に係る地区懇談会対応、専門部会による計画原稿修正について
令和5年8月3日	・後期基本計画策定に係る地区懇談会報告について
令和5年8月30日	・後期基本計画策定に係る概要(計画原稿)について
令和5年10月5日	・後期基本計画素案の校正について
令和5年11月2日	・後期基本計画(最終案)について

【5】後期基本計画策定専門部会

専門部会は庁内職員で構成し、6つの政策分野ごとの計画原案を作成しました。令和5年5月に専門部会全体会を開催し、6月から9月にかけて計画の策定作業を進めました。

政策分野	所 属	職 名	氏 名
第1章 生活環境・住民自治	総務課	行政係長	瀬戸 裕次
		消防防災係長	豊田 太祐
		秘書広報係長	吉廣 彰子
	政策企画課	管財係長	高橋 達矢
		デジタル政策推進係長	良田 大
		主幹	長谷川 一正
	農政課	課長補佐	鈴木 浩
	町民生活課	課長補佐	工藤 由美
スポーツまちづくり推進課	課長補佐	佐藤 義則	
第2章 子育て・健康福祉	健康推進課	課長補佐	佐藤 典子
		課長補佐	木村 三恵
		課長補佐	近藤 佳代子
		保健予防係長	熊谷 知恵美
		保険給付係長	山口 真由美
	子ども家庭課	課長補佐	吉野 博美
	福祉課	課長補佐	大島 奈緒美
		課長補佐(～令和5年6月)	菊地 宏美
第3章 都市計画・街づくり	地域整備課	課長補佐	成川 賢
		課長補佐	高橋 聡
	政策企画課	課長補佐	小熊 尚宏
	上下水道課	課長補佐	鈴木 由佳
		水道施設係長	小笠原 敦樹
第4章 産業・観光	農政課	課長補佐	鈴木 浩
	商工観光課	観光物産係長	平野 隆
		商工労政係長	田中 俊之
第5章 学校教育・生涯学習	教育総務課	学校教育専門監	小野寺 淳一
		課長補佐	小野寺 堅一
	学校給食センター	次長(～令和5年6月)	村上 久美
		次長(令和5年7月～)	石倉 修
	生涯学習課	課長補佐	小野 宏
第6章 行政・組織経営	総務課	課長補佐	伊藤 敏之
		庶務人事係長	泉 大輔
	政策企画課	課長補佐	小熊 尚宏
		課長補佐	関谷 一伸
		デジタル政策推進係長	良田 大
	税務課	課長補佐	中河原 ひろみ
	町民生活課	町民係長	佐藤 悠介

【6】後期基本計画素案に対するパブリックコメント(意見公募)

本計画に対する意見を町民等に広く求めるため、令和5年11月2日から11月21日まで、20日間にわたり、後期基本計画素案に対するパブリックコメント(意見公募)を行いました。意見提出のお知らせ(チラシ)を全戸に配布をし、町ホームページ、町内6カ所において計画素案を入手、閲覧を進め、意見公募を行いました。

○実施概要

1. 募集対象

- ① 一般町民
- ② 町内に事務所又は事業所を有する個人及び法人、その他団体含めた代表者
- ③ 町内の事務所又は事業所に勤務する者

2. 意見を公募する期間

令和5年11月2日(木)から令和5年11月21日(火)

3. 計画素案の公表方法

町ホームページで公開。大河原町役場政策企画課(企画振興係)、中央公民館、金ヶ瀬公民館、駅前図書館、世代交流いきいきプラザ、総合体育館の各窓口に配備。

4. 意見提出の方法

所定の「意見記入用紙」に、住所、氏名(法人の場合は所在地・名称・代表者名)、連絡先等を明記し、電子メール、郵送、FAXにより送付、または政策企画課(企画振興係)窓口に提出。

5. 実施結果

意見提出者数 7名(7件:公園環境2・分娩施設1・賑わい施設1・児童クラブ1・側溝1・医療ケア児支援1件)

意見反映1件:第2章子育て・健康福祉 第2項(1)地域医療に関する基本計画<施策の方向性と主な事務事業>①地域の医療、診療体制の充実に追加「地域の分娩施設の復活に関し、みやぎ県南中核病院企業団と連携し、様々な働きかけを進め再開を目指します。」

【7】大河原町議会全員協議会への説明

○第6次大河原町長期総合計画(令和元年度～11年度)・後期基本計画策定について

- (1)実施時期 令和4年9月1日
- (2)説明内容 後期基本計画策定の趣旨及び策定スケジュール

○第6次大河原町長期総合計画・後期基本計画策定に係る住民満足度調査の結果

- (1)実施時期 令和5年3月2日
- (2)説明内容 住民満足度調査の結果

○第6次大河原町長期総合計画・後期基本計画に係る概要について

- (1)実施時期 令和5年9月1日
- (2)説明内容 後期基本計画の序論及び政策分野別基本計画の内容

○第6次大河原町長期総合計画・後期基本計画(最終案)について

- (1)実施時期 令和5年12月1日
- (2)説明内容 第6次大河原町長期総合計画・後期基本計画策定について

【8】大河原町議会議決

○第6次大河原町長期総合計画の後期基本計画を定めることについて

議決月日 令和5年12月11日(議案第50号)



住民満足度調査の結果を お知らせします



町では、第6次長期総合計画（令和元～11年度）の中間見直しを行い、後期基本計画（令和6～11年度）を策定する作業を進めています。

策定作業の一つとして、町施策の現状を満足度と必要度で表わす住民満足度調査を昨年11月に実施しました。今回は満足度調査の項目に加え、後期基本計画策定に向けた「白石川右岸河川敷等整備事業」「行政手続きのデジタル化」など、重点施策についての設問も加えて行いました。その結果をお知らせいたします。

◆ 調査の概要

- 調査対象 ▶ 町内在住18歳以上のかた2,000人（無作為抽出）
 - 実施期間 ▶ 令和4年11月11日～12月8日
 - 調査方法 ▶ 郵送による配布・回収及びオンライン回答
 - 回収結果 ▶ 749人（回収率37.5%、郵送回答630名、オンライン回答119名）
 - 満足度採点 ▶ 5点（満足）・4点（やや満足）・2点（やや不満）・1点（不満）
 - 必要度採点 ▶ 5点（充実拡大）・4点（現状維持）・2点（少し減らす）・1点（あまり必要ない）
- ※調査結果は全回答採点の平均で表しています。

また、前回住民満足度調査（平成29年5月実施）との比較も示しました。

表A:各政策分野の満足度と必要度

分野	政策分野	満足度 平均点	前回の 結果	必要度 平均点	前回の 結果
①	生活環境や安全安心な暮らしに関する施策	3.2	3.3	4.2	4.2
②	健康福祉づくりに関する施策	3.6	3.5	4.3	4.3
③	都市基盤と街づくりに関する施策	3.3	3.2	4.3	4.3
④	産業と観光に関する施策	3.3	3.1	4.3	4.2
⑤	教育・文化に関する施策	3.4	3.2	4.2	4.3
⑥	役場の運営に関する施策	3.5	3.4	4.2	4.2
	全体平均	3.4	3.3	4.3	4.3

表B:重点的に取り組むべき施策ランキング(必要度は高いが満足度が低い)

	施策(必要度の高い順)	満足度 平均点	必要度 平均点	満足度/ 必要度
1	空き家対策の推進	2.4	4.4	0.55
2	安全で便利な道路の整備と維持管理	2.9	4.6	0.63
3	農業支援の充実	3.0	4.3	0.70
4	災害対策の充実	3.2	4.4	0.73
5	都市施設・公共交通の充実	3.1	4.2	0.74
6	企業誘致の推進	3.2	4.3	0.74

◆全体的傾向(前回の比較)
全体(表A)の政策分野別の満足度では、「生活環境や安全安心な暮らし」だけが0.1ポイント下がりしましたが、ほか政策分野は0.1～0.2ポイント上がっています。必要度は、全政策分野で4.2～4.4.3点の数値であり、まちの施策に対して全般的に現状より充実を求めている傾向となっています。

重点的施策(表B)は、満足度の低い「空き家対策の推進」「安全で便利な道路の整備と維持管理」は前回と同様に必要度も高く施策の強化が求められています。その他、「農業支援の充実」「企業誘致の推進」の産業振興、「災害対策の充実」に関心が高い状況となっています。

◆ 施策分野別に見た傾向

① 生活環境や安全安心な暮らしに関する施策

(質問項目No.1~9)

「地域コミュニティの活性化」「環境美化の推進」において満足度が下がっています。コロナ禍により、地区活動等の減少が影響しているものと

考えます。また、前回に引き続き、「空き家対策の推進」の満足度が2.4と全体で最低の数値、必要度が4.4と高い数値になっています。空き家の実態把握はしているものの、具体的な取組が見えていないことから評価が低いものと思われま

【自由意見抜粋】
ながら見守りの強化、午後5時のサイレンの廃止、町内会活動が不透明、災害時の情報発信不足、ゴミの分け方・出し方のルールの徹底、避難場所の周知、自転車の交通ルールの周知、広報おがわらの内容充実、空き家の解体費用補助、ペット対策の強化、燃やせないゴミ・乾電池の収集日の増加など

分野①：生活環境や安全安心な暮らしに関する施策

No.	調査項目 (施策内容)	役場の主な取り組み (施策や事業の概要)	満足度 平均点	前回の 結果	必要度 平均点	前回の 結果
1	地域コミュニティの活性化	行政区活動、協働のまちづくり事業交付金(地区活動に対する補助)の推進、集会所・生活センターの建替えや維持管理、活用の推進など	3.2	3.4	3.9	3.9
2	環境美化の推進	町内一斉清掃の実施、不法投棄の監視、リサイクルステーションの活用、ペット対策、次世代型住宅補助など	3.3	3.5	4.2	4.2
3	空き家対策の推進	空き家の実態把握調査、特定空き家対策、空き家利活用など	2.4	2.3	4.4	4.3
4	交通安全・防犯対策の充実	交通安全指導隊による交通安全指導、街路灯のLED化やカーブミラーの設置、防犯指導隊や各地区防犯ボランティアの活動の充実など	3.3	3.2	4.4	4.4
5	消防防災体制の充実	消防団の活動支援、自主防災組織の育成強化(防災倉庫など)	3.6	3.7	4.2	4.2
6	災害対策の充実	戸建て木造住宅の耐震診断・改修助成、防災マップの作成、スクールゾーン内通学路の危険ブロック撤去補助事業など	3.2	3.2	4.4	4.4
7	わかりやすい情報公開の推進と情報共有	広報おがわら・おしらせばんの発行、ホームページ、フェイスブックによる情報発信、メール配信サービスなど	3.6	3.8	4.2	4.1
8	まちづくりへの住民参加の推進	パブリックコメント(意見公募手続)の実施、住民懇談会の実施、NPOなど住民グループの活動に対する支援など	3.1	3.1	4.0	4.0
9	広域行政の推進	ごみ処理・消防・介護などの広域行政事務処理、みやぎ県南中核病院の運営、一目千本桜の観光連携など	3.3	3.1	4.4	4.4

分野②：健康福祉づくりに関する施策

No.	調査項目 (施策内容)	役場の主な取り組み (施策や事業の概要)	満足度 平均点	前回の 結果	必要度 平均点	前回の 結果
10	健康づくりの推進	健(検)診、健康相談、予防接種の実施、健康教室の開催、特定健診(メタボ健診)、新型コロナウイルスワクチン接種など	4.0	3.9	4.2	4.3
11	医療体制の充実	仙南夜間初期急患センターの開設、休日当番医制度の維持、みやぎ県南中核病院の機能強化と運営費負担など	3.6	3.5	4.4	4.3
12	子育て支援の充実	18歳までの医療費無料化(所得制限なし)、子育て相談体制、子育て援助活動、保育所・児童クラブ・子育て支援センターの運営など	3.8	3.7	4.2	4.3
13	福祉の充実	地域包括支援センター運営事業、ミニデイサービス事業、介護サービス・保険制度の運営、障がい者福祉サービスの提供及び助成制度(タクシー利用料、医療費)、福祉委員・民生委員の充実、生活保護相談など	3.3	3.3	4.4	4.4
14	保険制度の充実	国民健康保険・後期高齢者保険制度の運営など	3.4	3.3	4.3	4.3

分野③：都市基盤と街づくりに関する施策

No.	調査項目 (施策内容)	役場の主な取り組み (施策や事業の概要)	満足度 平均点	前回の 結果	必要度 平均点	前回の 結果
15	都市施設・公共交通の充実	デマンド型乗合タクシーの運行、バス路線維持のための支援、Orga駐車場や駅前駐輪場等の維持管理など	3.1	2.9	4.2	4.2
16	公園・緑地の整備	白石川右岸河川敷等整備(にぎわい交流空間づくり)、住民参加による公園管理の推進、公園施設・遊具の維持管理など	3.3	3.2	4.0	4.2
17	安全で便利な道路の整備と維持管理	道路・附属施設点検・補修、道路の災害復旧、町道の除雪作業、歩道・側溝の整備と維持管理など	2.9	2.8	4.6	4.6
18	上水道の充実	安全・安心な水道水の提供、老朽管の布設替え等補修、自己水源施設整備、水道水の水質検査など	3.8	3.5	4.3	4.3
19	下水道の充実	公共下水道の整備、雨水排水施設の整備、下水道施設の維持管理など	3.5	3.4	4.4	4.3

② 健康福祉づくりに関する施策
(質問項目No.10~14)

「健康づくりの推進」「医療体制の充実」の満足度が上がっています。新型コロナウイルス感染症対応として、ワクチン接種に係る集団接種や医療機関対応など命を守る体制が評価されたものと考えま

【自由意見抜粋】
す。また、「子育て支援の充実」も上昇しているのは、桜保育所整備等の環境づくりやコロナ禍対応の子育て世帯への支給金給付などの事業が評価されたものと考えます。

③ 都市基盤と街づくりに関する施策
(質問項目No.15~19)

「安全で便利な道路の整備と維持管理」では満足度が2.9に止まり、必要度は全体の中で一番高い4.6となっています。一方、「公園・緑地の整備」の必要度は下がっています。一要因として、白石川右岸河川敷等整備事業の河川敷公園の整備が大きく進んでいるために、必要度が低くなっている可能性があります。

施策5項目すべて満足度が上がっています。しかし、「安全で便利な道路の整備と維持管理」では満足度が2.9に止まり、必要度は全体の中で一番高い4.6となっています。一方、「公園・緑地の整備」の必要度は下がっています。一要因として、白石川右岸河川敷等整備事業の河川敷公園の整備が大きく進んでいるために、必要度が低くなっている可能性があります。

次ページへ続く



分野④：産業と観光に関する施策

No.	調査項目 (施策内容)	役場の主な取り組み (施策や事業の概要)	満足度 平均点	前回の 結果	必要度 平均点	前回の 結果
20	農業支援の充実	農業経営の育成支援、ほ場整備等農業基礎整備、特産物づくり・6次産業化支援、農作物有害鳥獣対策、耕作放棄地の再生利用推進など	3.0	3.3	4.3	4.2
21	商業・サービス業の活性化	商店会活動・イベントへの支援、起業・創業支援、コロナ禍による中小企業者の減収支援、おおがわら商品券（町民生活応援）の配布など	3.5	3.0	4.3	3.9
22	企業誘致の推進	金ヶ瀬川根工業団地への工場の新設、増設、雇用に対する支援など	3.2	3.1	4.3	4.4
23	観光と地場産品の振興	桜まつり・夏まつりの開催、桜樹の保護や植樹、案内板の設置、地場産品を活用した商品の開発など	3.3	3.1	4.3	4.4

【自由意見抜粋】
オーガがあまり活用できていない、公園の遊具の充実、白石川右岸河川敷等整備事業に期待、街灯が少ない、除雪の強化、公共交通のさらなる整備、公園が少ない、カーブミラーの増設、側溝の整備、公園の維持管理の強化、白石川土手沿いに休憩場所を整備、

分野⑤：教育・文化に関する施策

No.	調査項目 (施策内容)	役場の主な取り組み (施策や事業の概要)	満足度 平均点	前回の 結果	必要度 平均点	前回の 結果
24	学校施設・サービスの充実	学校屋内運動場や給食センター等学校施設の整備、タブレット整備等ICT教育の充実、小中学校教員補助者の配置、いじめや不登校などの問題に対するこころのケアハウスの運営など	3.5	3.2	4.4	4.6
25	公民館・図書館の充実	各公民館の主催事業並びにボランティア教室の開催と利用の推進、駅前図書館の資料の充実と情報の提供など	3.4	3.1	4.2	4.3
26	文化・芸術の振興	小中学生を対象とした芸術文化鑑賞事業の実施、えずこホールの利用促進・住民参加型活動、文化財の保護と活用など	3.5	3.3	4.2	4.2
27	スポーツの振興	各種スポーツ大会の実施、総合体育館など体育施設の維持管理（指定管理）、パークゴルフ場の整備など	3.3	3.3	4.0	4.2

町道の維持管理の徹底、歩道の整備、大河原公園の整備など
④産業と観光に関する施策
(質問項目No.20～23)
「農業支援の充実」で満足度が0.3ポイント下がっています。農業の充実を求めている方が多いものと推測されます。

分野⑥：役場の運営に関する施策

No.	調査項目 (施策内容)	役場の主な取り組み (施策や事業の概要)	満足度 平均点	前回の 結果	必要度 平均点	前回の 結果
28	親切で親しまれる窓口サービスの推進	丁寧な窓口対応、水曜日の夜間窓口の実施、年度末・年度始の休日開庁など	3.8	3.6	4.3	4.2
29	役場組織の行政改革の推進	職員数の適正管理、財政の健全化、業務の効率化、業務の民間委託等の推進など	3.2	3.1	4.1	4.1

「商業・サービス業の活性化」で満足度が0.5ポイント上昇、必要度も0.4ポイント上昇。コロナ対策として、減収事業者支援や商品券配布等経済対策などが評価されたと考えられますが、必要度が高いことから更なる産業の活性化が求められているものと受け取れます。

【自由意見抜粋】
学習環境が不足している、図書館の充実、図書館の蔵書が少ない、体育館の予約システム

【自由意見抜粋】
満足度が全体的に上がっており、「学校施設・サービスの充実」で満足度が0.3ポイント高くなっています。学力向上のほか、給食センターや大河原中学校体育館など施設整備への評価も含まれているものと考えます。「スポーツの振興」では必要度が0.2ポイント下がっています。サイクリング・ウォーキングのコース、パークゴルフ場などスポーツの環境づくりが進んだことが要因とも考えられます。

**⑤教育・文化に関する施策
(質問項目No.24～27)**

【自由意見抜粋】
農業関係の助成金の周知、働ける場所が少ない、道の駅の設置、桜・梅・白鳥を活用した観光強化による地元企業の活性化、桜の撮影の誘致、桜をイメージした商品の開発、梅を使った商品の開発、桜しかないイメージの払拭、白石川の土手沿いの環境整備、桜の植樹、さくらつきーを使ったSNSでの情報発信など

【自由意見抜粋】
自発的な行動をしてほしい、ITの活用、町民の声を聞いてほしいなど

【自由意見抜粋】
接遇の見直しを、気軽に行ける役場にしてほしい、カスタマーハラスメント対策を、きめ細やかな情報開示を、役場庁舎の老朽化が心配、電話のたらい回しが多い、職員に感謝、高齢者が情報化についていけるような体制を、職員に

**⑥役場の運営に関する施策
(質問項目No.28～29)**

「親切で親しまれる窓口サービスの推進」で満足度が上がっていますが、必要度も上がっています。調査回答における自由意見では町職員への対応への意見が多く、職員の資質向上及び更なる住民サービスの向上が求められています。

◆ 今後のまちづくりや白石川右岸河川敷等整備事業、行政手続きのデジタル化等の回答

1. No.1 から No.29 までの取組みのほか、関心があること（複数選択・上位 5 位）

順位	選 択 項 目	749 人中
1	景観形成・保護に関すること	53 人
2	バリアフリー化に関すること	50 人
3	観光物産協会に関すること	50 人
4	シルバー人材センターに関すること	48 人
5	SDGs（持続可能な開発目標）に関すること	40 人

2. 大河原町が将来的にどのようなまちを目指したら良いと思うか（3 つまで選択・上位 5 位）

順位	選 択 項 目	749 人中
1	地震や風水害等の災害に強く、治安が良い「安全・安心なまち」	397 人
2	医療サービスが充実し、健康づくり活動が盛んな「健康のまち」	357 人
3	安心して子どもを産み、育てることができる「子育て支援のまち」	259 人
4	高齢者や障がい者などにやさしい「福祉のまち」	204 人
5	中心街や河川敷などに人々が集う、活気が生まれる「にぎわいのまち」	159 人

3. 大河原町のどのようなところに「魅力」を感じるか（3 つまで選択・上位 5 位）

順位	選 択 項 目	749 人中
1	観光資源（一目千本桜、花火大会、大河原河川公園〔白鳥〕など）	364 人
2	仙南地区の中心都市	300 人
3	豊かな自然環境（川、田園、里山など）	297 人
4	交通の利便性（高速道路〔白石 IC、村田 IC〕、新幹線〔白石蔵王駅〕、仙台空港など）	293 人
5	都市サービス（ショッピング、飲食、各種サービスなどの施設や環境）	175 人

4. 災害対応として、町が重点を置くべきと思う施策（3 つまで選択・上位 5 位）

順位	選 択 項 目	749 人中
1	白石川決壊を防ぐための土手の補強、川底の浚渫（さらう）等（国県要望）	464 人
2	浸水地域解消のための雨水調整池、側溝等の整備	348 人
3	避難所設置、受入体制、生活用品、食糧備蓄等の充実	333 人
4	災害情報を素早く知らせる情報通信（メール配信・ホームページ掲載等）の充実	266 人
5	地区の自主防災組織の強化、非常時の災害弱者支援・誘導等	125 人

5. 人口減少が進む中であって、町が重点を置くべきと思う施策（3 つまで選択・上位 5 位）

順位	選 択 項 目	749 人中
1	町内での雇用の創出	405 人
2	子育て世帯への支援（医療費無料化、子育て施設の充実など）	402 人
3	移住・定住施策の推進	311 人
4	結婚の促進、出生率の向上	217 人
5	健康寿命の延伸（元気な高齢者づくり）	167 人

6. 白石川右岸河川敷等整備事業に期待する展開（2 つまで選択・上位 5 位）

順位	選 択 項 目	749 人中
1	ゆっくり散歩ができたり、ベンチでくつろいだり、憩いや安らぎに親しめる場所にしていく。	400 人
2	桜並木・白石川・蔵王の景観を活かした訪れたい観光地づくりを進めていく。	281 人
3	バーベキューやキャンプ、キャンピングカーなどアウトドアが楽しめる場所にしていく。	182 人
4	土手沿いに交流施設を整備し、交流人口の増、物販や雇用につなげる拠点にしていく。	143 人
5	桜並木や桜の新品種など桜を中心とした景観づくりや桜まつりの拡大を進めていく。	114 人

7. 行政手続きのデジタル化に期待すること（2 つまで選択・上位 5 位）

順位	選 択 項 目	749 人中
1	役場の窓口に行かなくても、休日や夜間でも申請や届出などの手続きができるようになる。	387 人
2	コンビニで住民票や所得証明書等の交付が受けられるようになる。	257 人
3	役場窓口での申請書の記入がなくなり、待ち時間も少なくなる。	197 人
4	期待できるものはない。	112 人
5	公共施設の WiFi 環境が整備され、インターネットに気軽に接続できるようになる。	107 人

8. 行政手続きのデジタル化で不安に感じる事（2 つまで選択・上位 5 位）

順位	選 択 項 目	749 人中
1	インターネットの安全性や個人情報の流出等の不安がある。	453 人
2	キャッシュレス（電子）決済の信頼性に不安がある。	245 人
3	スマートフォンやパソコンを使った手続きは難しそう。	133 人
4	インターネットを利用したことがない。	101 人
5	不安はない。	101 人

住民満足度調査及び今後のまちづくりなどへいただいた意見については、策定を進める後期基本計画の政策分野ごとの作業部会において、施策の展開の参考とするとともに、業務改善に役立ててまいります。

なお、アンケートの結果の詳細は、町ホームページでも公開していますので、こちらもぜひご覧ください。

問合せ先 ▶ 政策企画課企画振興係（2 階①番窓口） ☎ 0224-53-2112

Well-beingなまちづくりを目指して

この5年、私たちの暮らしは変動し、安定したものではなかったものと感じています。町では、これからの暮らしを展望したとき、日々の幸福が実感でき、健康な日々を送れること、その状態が続いていくことの大切さを再認識しました。そこで、心身と社会が健康で幸福な状態が継続することを示す「Well-being」を活用し、“Well-beingなまちづくり”を後期基本計画の中で全面に出していきたいと考えております。



町では、大河原町長期総合計画（令和元年度～11年度）の目指すまちづくりの基本構想を実現するため、基本計画で方向性を定め、各分野の施策を進めてきました。本年度、前期基本計画（令和元年度～5年度）の評価・検証を行い、

今後のまちづくりの進め方をまとめるため後期基本計画（令和6年度～11年度）策定の作業を進めています。

前期基本計画の期間では、策定時になかった新型コロナウイルス感染症の拡大、原油・物価高騰に

よる暮らしへの影響、自然災害などもあり、予定どおり進捗していない状況があります。後期基本計画の策定にあたり、デジタル化や子育て支援等国の政策重点化、人口減少、少子高齢化、SDGs、多様性、地域共生社会等、町を取り巻く社会環境の変化を踏まえながら、町民のニーズを把握するために地区懇談会を開催しました。

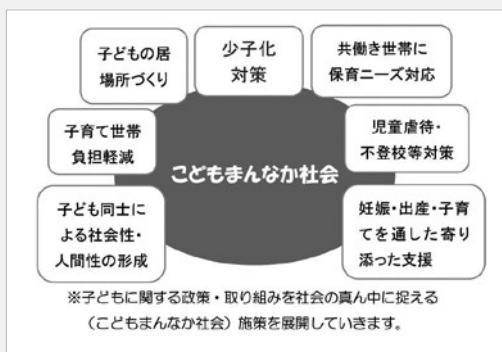
地区懇談会は、令和5年7月7日（金）から9日（日）にかけて町内5か所を会場に行いました。町から、後期基本計画策定の趣旨、住民満足度調査の結果、今後の12項目の重点政策に関する説明を行い、参加者から質問・意見をいただきましたので、その内容を掲載します。（一部割愛）

地区懇談会で説明した12の重点政策

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| ①地域コミュニティの向上 | ⑧農業・商業・工業の振興策 |
| ②災害に強いまちを目指して | ⑨一目千本桜のブランド化と観光・地場産業の振興 |
| ③スポーツによるまちづくりの展開 | ⑩学校施設の大規模改修 |
| ④地域ぐるみの健康増進 | ⑪郷土を誇るひとづくりへの取組み |
| ⑤こどもまんなか社会の実現に向けて | ⑫行政手続きのデジタル化 |
| ⑥重層的支援体制の整備 | |
| ⑦白石川右岸河川敷等整備の進捗状況 | |

大河原町長期総合計画・後期基本計画策定に係る
地区懇談会を開催しました
開催期日▼7月7日～7月9日

後期基本計画策定に係る地区懇談会 「Well-beingなまちづくりを目指して」
 令和5年7月7日(金)午後7時～／世代交流いきいきプラザ(多目的ホール)／参加者26人



質問 「こどもまんなか社会」を目指すところがあるが、共働きが増えていく中、放課後児童クラブの対応は？また、運営を指定管理に任せることで質が高められるのではないか。

回答 放課後児童クラブの利用者は年々増えていきます。定員より多く受入れを行い、一時利用でも対応をしている現状です。

子育て支援、河川敷整備の方向性、地域コミュニティの課題、桜の管理等の質問がありました



▲賑わい交流拠点施設の整備予定地区

質問 河川敷整備でつくる賑わい交流拠点施設は大規模な政策、町民の理解を得る進め方をしてほしい。

回答 県とのコラボ事業で始まり、住民説明会を開き、コロナ禍後の賑わい創出、民間活力導入による展開、Well-beingなまちづくりにつながることは説明し続けていきます。議会との共通認識のもとに進めていますので、共に説明責任を果たしていきます。

民間の力を借りる指定管理も視野に入れるべきですが、職員体制もあり早々には移行できる状況にはありません。

質問 今回の計画に道の駅整備がない。大河原町は立地的に条件がよい。賑わいをつくるために再度計画してほしい。

回答 白石川右岸河川敷等整備により賑わいをつくりたいです。産業振興、観光、地域づくりの視点

質問 桜が咲くのはすばらしいが、土手沿いでは枝折れ、落ち葉等で土手沿い住民の手間が生じている。町からのフォローはないに等しい。

回答 桜樹の管理の一環として、そのような困り事があれば、状況について担当課に申し出願います。

質問 桜が咲くのはすばらしいが、土手沿いでは枝折れ、落ち葉等で土手沿い住民の手間が生じている。町からのフォローはないに等しい。

質問 地区コミュニティを進める際に、アパート等が区加入や行事参加などへの反応が悪い。また班長を任せるとかたが高齢のかたが多く、苦勞をかけている。様々に課題があり、区運営が大変になっている。

回答 区での課題、住民目線での困り事があることは認識しています。その都度相談いただき、一緒に考えていきたいと思えます。

質問 2市7町を繋ぐサイクリングロードの計画はどうなっているのか。

回答 本町が仙南サイクルツーリズム推進会議を立ち上げましたが、コースは設定しましたが、その後コロナ禍でイベントができませんでした。今後、他市町と魅力づくりの議論を深めていきます。



による組み立てを付加し、道の駅整備にこだわることなく可能性を広げていきます。

水害時の避難、内水氾濫対策、学校プールの集約化、河川敷スポーツ施設の管理等の質問がありました

質問 台風19号時、集会所と金ヶ瀬小学校が避難所になったが、集会所も垂直避難できない。学校の駐車場も冠水し、水害時の避難の仕方を示す必要がある。

回答 状況により避難所とある場所が対応できない場合があることは事実。まずは内水ハザードマップを9月以降に全戸配布する予定ですので、課題が残るようであれば個別対応をしていきます。

質問 金ヶ瀬の降水は青木堀から荒川に流れる。他からも流入がありポトルネックになっている。台風19号程度の水害が発生した場合のことを考えていただきたい。

回答 台風19号では荒川・新川の越水がありました。令和2年度から、国で荒川の河川整備を進めていますので、いくらか緩和



▲冠水した小島地区

されるものと思います。ただ、越水の状況になると、ポンプではき出す先がない状態。内水氾濫に関しては、町では調整池をつくることで対応する方向で、冠水抑制として稗田前から取り掛かる予定です。

質問 町内小中学校のプールの老朽化が進む。温水プールを設置し、1か所に集約化も考えていいのではないか。他地域で進めているところがある。

回答 年間指導計画では水泳の時間は1シーズン10時間程度です。耐用年数は過ぎていますが、修

理しながら故障なく活用しています。集約するほど老朽化が進んでいないので、現状の施設で体力向上に結び付けていきます。

質問 河川敷整備のドッグラン、MTB、パークゴルフについて、作ったら、それを管理して、安全に使えるようにしないとけない。どのように管理していくのか。

回答 MTBで土日のみレンタルによる管理をしています。全体については今後整備する賑わい交流拠点施設と併せて管理・運営の在り方を検討していきます。



▲白石川右岸河川敷にあるドッグラン

質問 白石川に中州ができた。水位が尾形橋まで上がったことがあった。左岸の側面がえぐられている状況。河川の川底の浚渫(土砂のすくい取り)が必要である。

回答 川底の浚渫は県に要望中ですが、県負担として右岸河川敷整備が先になっています。川底の浚渫に係り、防災だけでなく、河川敷活用、リバースポーツ、白石川連携など総合的な政策を示しながら要望を続けていきます。



水害対策体制、内水氾濫対策、地域コミュニティの維持、避難行動要支援者等の質問がありました

質問 台風19号冠水時、沿辺排水場が機能せず内水氾濫が起きたと聞いている。同様の大雨時に支障が出ないようにしてほしい。

回答 荒川・新川が越水状態で、ポンプでかき出す先もない状態でした。排水機ポンプの維持管理を村田町と協定締結し、管理の在り方を明確化しました。内水対策は調整池の整備により対応していく方針です。

質問 桜町の側溝は古くて浅くて狭い。大きくして内水の際にためられるのでは。

回答 内水がはける先に余裕がないと、一定量の水ははけないため、側溝を広げても冠水する危険があります。調整池対応以外にないものと考えています。

質問 台風19号時に自家用車が水没。区が企業と契約して駐車場を確保した。町で車の避難所を企業と協定できないか。

回答 町と協定をしますと、町全体の車の避難所になりますので、区だけの対応にならなくなりま。行政区が最適と判断するその場所の企業との協定が最善と考えます。交渉時には消防防災係の仲介も可能ですので、お声がけください。

質問 区の世帯が減少、児童・生徒も少ない。高齢者は増えている。役員のなり手がいない。地区コミュニティの向上を重点的に進めてほしい。

回答 行政区それぞれの事情を踏まえながら、区長中心に話し合いをし、コミュニティの弱体化を防いでいきたい。役場だけでできるものではなく、地域全体との連携が大切と考えます。

質問 町民レクリエーション大会で若い方が入り、区行事をこなせた。若い人の力を借りないと区事業はできないと思った。

回答 今大会は若い人が多かったと聞いています。新しく住まわれたかたは若い世帯で、区行事

■災害協定状況(令和5年4月30日現在)

No.	種別	企業名	所在地
①	帰宅困難者受入	㈱ワカキ (グリーンホテル大河原)	字広表 48-8
②	避難所	仙南芸術文化センター (えずこホール)	字小島 1-1
③	避難所	日本基督教団 大河原教会	大谷字盛 22
④	避難所	宗教法人 安浄寺	大谷字一軒地 141
⑤	避難所	みやぎ仙南農業協同組合 (ララ・さくら)	字中島町 3-4
⑥	避難所	㈱仙南建設会館	字新南 50-3
⑦	避難所	㈱八重樫工務店	字新南 20-5
⑧	駐車場提供	㈱ヒルズ	堤字五瀬 72
⑨	駐車場提供	㈱福重企画 (さくらショッピングセンター)	字広表 27
⑩	駐車場提供	㈱ケイホク (パーラービッグウェーブⅡ)	字新南 58-15



▲町民レクリエーション大会
若い世代が多く参加しました

に参加があれば新たな広がりが出てきます。行政区事業の進め方について相談がありましたら、可能な限り対応してまいります。

質問 避難行動要支援者の中で、自分で行動可能な方もいる。実際の活用を踏まえ、実効性のある登録者としていくべき。

回答 要支援者登録には民生委員の力をお借りしています。実効性があるよう、登録時、ヒアリングにより避難行動の確認、また広報紙により周知していきます。

質問 防災士資格者が多くなってきたが、横のつながりがない。防災士同士の情報交換の機会を設けてほしい。

回答 各地区にいる防災士や自主防災組織のリーダーを含めた研修会を開催して、地域の防災力を高めてまいります。



▲白石川に集まるリバースポーツを楽しむ方々

リバースポーツの推進、耕作放棄地対策、相談体制づくり、産婦人科の復活、教育のまちづくりなどの質問がありました

質問 白石川右岸河川敷の整備は進んでいるが、景観として左岸の林をきれいにするとロケーションがよい。

回答 河川敷整備において多くの要望を県にあげていますが、左岸の雑木伐採も県に要望していきます。

質問 リバースポーツを進めることで通年観光につながるものと思う。

回答 カヌーに乗る方々から、川から見る桜は日本一だと言われました。リバースポーツの可能性は中州の撤去にも繋がりますが、多くのアイデアを得ながら取り組んでいきたいと思っています。

質問 耕作放棄地の笹の葉が交通の妨げになっていたが、町が地権者に交渉し解消された。他の耕作放棄地も積極的に話してほしい。

回答 耕作放棄地対応として地主への働きかけを進め、土地活用の拡大につなげていきます。

質問 過去、内水氾濫のあった場所にマーキングをして住民へ示してはどうか。

回答 過去のデータがそろっていない状態ですので、データが蓄積したうえで考えていきたいと思えます。



質問 家庭内の複雑・多様化している相談支援を行う「重層的支援体制」、妊産婦から子育て世帯子どもへの一体的な相談を行う「子ども家庭センター」に関して役場内連携が重要。

回答 新たな相談体制の設置、組織づくりの強化がわかるように、担当課が共に業務にあたる執行場所、ハード的な整備も含めて検討していきます。

質問 県南の産婦人科医が少ない。中核病院の産婦人科医はどうなったか。

回答 分娩できる病院がない場合、子どもを持つ意欲が削がれるという調査結果があります。中核病院での分娩復活が住民の強い要望、行政課題と受け止めています。様々な分娩復活できるよう努めます。

質問 地区で親子会や若い世代をどう引っ張っていくか。代々自分の親から教えられ、その子がいろいろな体験の中で成長する。地区で子どもたちの体験にいろいろな大人が絡み、成長する。地域力につながる。教育のまちづくりを一緒に考えていただきたい。

回答 体験活動を通して子どもたちの成長に繋げ、その子どもたちが大人としての自覚をもって自分事として町の課題解決に向かっていくと感じます。地区活動が、家庭、地域、まちづくりに繋がるものとして、今やれる一つひとつの取組みを共に地道に積み重ねていきたいと思います。

指定避難所の確認、障がい者のスポーツ機会、肥満傾向児の対策、第一優先とする河川敷整備等の質問がありました

質問 指定避難所となっている県を含めた学校施設等が、年月が経過すると施設側の認識が薄くならないか心配。認識を高める方が必要では。

回答 学校施設等に町の意図が伝わるように、避難体制の確立を目指して声掛けしていきます。

質問 スポーツによるまちづくりとして、障がい者も参加できるように、すべてのかたができるものが必要と考える。

回答 体を動かすことをスポーツととらえ、すべてのかたが触れる機会を設けていきます。河川敷整備の中でも配慮して対応できる姿勢を示していければと思います。

質問 学年別肥満傾向児が多い要因は？

回答 コロナ禍により運動する機会が減り、運動する子としない



子の2極化となっています。学校でも外遊びが減っています。仙台大学と連携して体力づくりを進めていきます。

質問 小さな公園はあるが、一日半日遊べる大きな公園がほしい。トイレの少ない公園が多い。

回答 大河原公園が大きい公園にとらえられていないのは残念ですが、意識されていない点で課題ととらえています。トイレがないなどを含め、多くの声に基づき調査をして整備を検討します。

質問 なぜ、Well-beingなまちづくりに白石川右岸河川敷等整備が第一優先なのかかわからない。どう運営？整備費は？維持管理費は？収益は？理解できない。

回答 これまでも広報紙や議会を通し、白石川右岸河川敷等整備に関して発信してきましたが、Well-beingなまちづくりとは心身と社会が健康で幸福な状態が継続する、どの自治体にあっても追及していく、行政の使命であります。幸せの実現として、本町の特長を活かしていくうえで、健康意識を伸ばす、桜のある景観づくり、身体を動かし交流が図れる、そんな空間ができればと整備してきました。仙南の中心であり、利便性、拠点性を担い、広域的な視点で地域と地域をつなぐ役割を担える本町だからこそ手掛けられる政策として進めているものです。

質問 河川敷整備、今後も含めて総額18億円かかると聞いている。賑わい交流拠点施設が整備され、どう利益をあげていくのか。

回答 河川敷整備は、県の整備で約3億6千万円、マウンテンパークにクラウドファンディングで635万円集まり、パークゴルフ整備も(財)スポーツ振興協会から3千万円以上の補助金が入っています。町負担と同じぐらい他から負担いただいています。今後、事業の成功確率を上げるため、また経費を下げるため民間活力導入の調査を行っています。何を作り、経費、運営手法、いつまで行うのか、説明責任を果たしていきます。

■閉会のあいさつ

「スポーツを活用したWell-beingなまちづくり」に対し、スポーツ庁から表彰を受けました。町として「Well-being」という言葉を、これからのまちづくりのキーワード、パワーワードにしたいと考えています。皆さんが健康で幸福でいられる状況を社会全体で作りに上げることができれば、まちの将来像である「ひと・まち・桜が咲きほこる先進のまち」になれると思います。「Well-beingなまちづくり」をご理解いただきまして、一緒にまちづくりに参加いただきますようお願いいたします。

問合せ先▼政策企画課企画振興係

(2階①番窓口)
 ☎02224-1532-112

2.後期計画6カ年度の財政見通し

後期基本計画に係る令和6年度から令和11年度までの事務事業経費を勘案した財政の見通しを示します。

【令和6年度～令和11年度）後期計画期間の財政の見通し】

(単位:億円)

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
地方税	31.1	31.0	30.9	30.8	30.8	30.7
地方交付税	20.1	20.1	20.0	20.0	19.9	19.9
地方譲与税・交付金・ その他一般財源等	14.1	14.0	14.0	14.0	13.9	13.8
歳入一般財源 A	65.3	65.1	64.9	64.8	64.6	64.4
歳出一般財源 B	68.6	70.3	70.9	68.4	68.7	68.2
形式収支 A-B	△3.3	△5.2	△6.0	△3.6	△4.1	△3.8
財政調整基金残高	24.8	22.3	19.0	18.1	16.7	15.6

※財政調整基金は、令和5年3月末現在 26 億 4,223 万円から令和5年度財源不足見込額を差引。毎年度基金利子 500 万円を加算、前年度繰越金2億 7,000 万円を加算。後年度も同様とした。

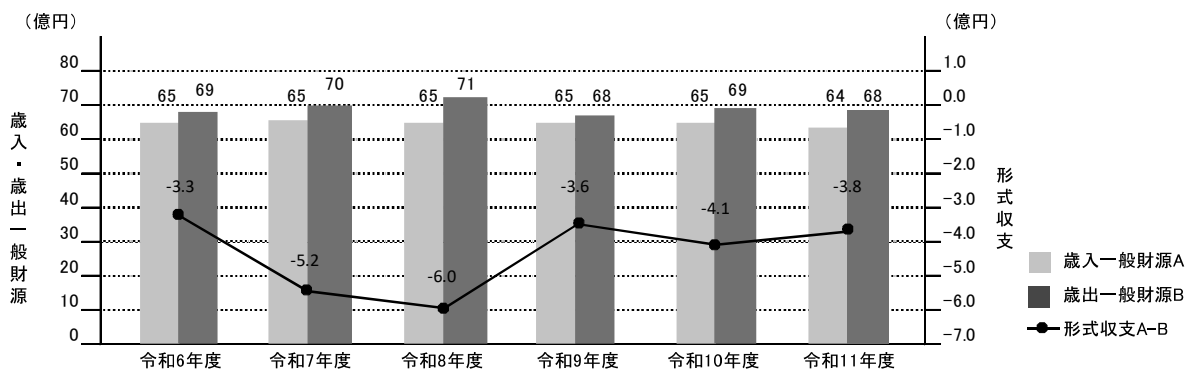
(前年度繰越金を3億円と推計。前年度剰余金の2分の1以上である2億円を決算積立と見込んでいるが、試算の都合上、当初予算計上の 3,000 万円を差し引いた2億 7,000 万円全額を積立としている。)

※本財政の見通しは、令和5年 10 月末現在で把握している財政資料に基づいて作成している。

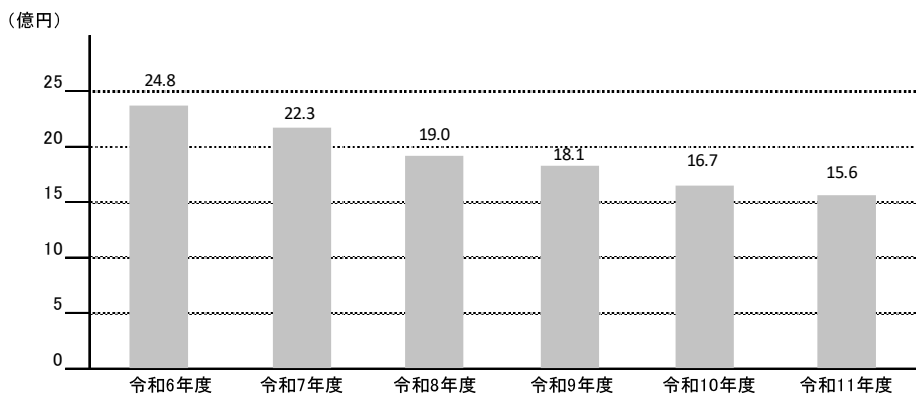
※本財源の見通し期間内において財源不足を生じる可能性があり、物件費・投資的経費等の圧縮を行っている。

※令和5年度予算を基準に、今後予定されている大規模事業を中心に、増減が見込まれるものを算入している。

■歳入・歳出一般財源と形式収支の見込み



■財政調整基金残高の見込み



3.政策・施策の目標指標一覧

第1章 生活環境・住民自治

No.	指標の内容	策定時 (平成 29 年度)	実績値 (令和 4 年度)	目標値(指標) (令和 9 年度)
1	集会所の利用人数	48,171 人	18,010 人	48,500 人
2	「コミュニティの活性化」に対する満足度 (5 点満点中)	3.4 点	3.2 点	3.5 点
3	「環境美化の推進」に対する満足度 (5 点満点中)	3.5 点	3.3 点	3.6 点
4	町民 1 人一日当たりのごみ排出量(kg)	0.89kg	0.92 kg	0.85 kg
5	リサイクル率(資源ごみ/総排出量)	13.3%	14.1%	16.0%
6	町内一斉清掃への参加人数(延べ人数)	8,994 人	7,936 人	9,000 人
7	空き家の数	236 件 (H28 調査)	161 件 (R4 調査)	140 件
8	「空き家対策の推進」に対する満足度	2.3 点	2.4 点	2.7 点
9	「交通安全・防犯対策の充実」に対する満足度(5 点満点中)	3.2 点	3.3 点	3.5 点
10	町内交通事故の発生件数	96 件	55 件	50 件
11	刑法犯認知件数	140 件	113 件	100 件
12	消防ポンプ自動車、消防ポンプ付積載車、 防災活動車台数	23 台	23 台	23 台
13	火災の発生件数	5 件	7 件	減少
14	自主防災組織の結成	40 行政区	40 行政区	43 行政区
15	消防団の団員数	272 人	254 人	300 人
16	「消防防災体制の充実」に対する満足度 (5 点満点中)	3.7 点	3.6 点	3.8 点
17	「災害対策の充実」に対する満足度 (5 点満点中)	3.2 点	3.2 点	3.3 点

No.	指標の内容	策定時 (平成 29 年度)	実績値 (令和 4 年度)	目標値(指標) (令和 9 年度)
18	「わかりやすい情報公開の推進と情報共有」に対する満足度(5点満点中)	3.8 点	3.6 点	3.8 点
19	ホームページの年間アクセス件数	337,000 件	1,595,334 件	1,600,000 件
20	「まちづくりへの住民参加促進」に対する満足度(5点満点中)	3.1 点	3.1 点	3.2 点
21	行政手続のオンライン申請件数	—	—	3,000 件
22	「広域行政の推進」に関する満足度(5点満点中)	3.1 点	3.3 点	3.4 点
23	転入件数	740 件	903 件	維持
24	婚姻届届出件数	99 件	74 件	維持
25	「スポーツの振興」に対する満足度(5点満点中)	3.3 点	3.3 点	3.5 点
26	スポーツ施設(総合体育館、東部グラウンド、東部屋内運動場、多目的広場、テニスコート)の利用者数合計(年間)	107,877 人	86,957 人	120,000 人
27	スポーツ施設(パークゴルフ場)の利用者数(年間)	—	—	17,000 人

第2章 子育て・健康福祉

No.	指標の内容	策定時 (平成 29 年度)	実績値 (令和 4 年度)	目標値(指標) (令和 9 年度)
1	「健康づくりの推進」に対する満足度(5点満点中)	3.9 点	4.0 点	4.2 点
2	健康教室開催行政区数 (保健協力員 3 年任期中の教室開催行政区数)	40 行政区	33 行政区	43 行政区
3	青年期健康診査受診者数	322 人	330 人	400 人
4	がん検診受診者数(延べ人数)	11,208 人	11,051 人	12,000 人
5	生後 4 か月までの保健師等の家庭訪問率	99.4%	99.2%	100%
6	「医療体制の充実」に対する満足度(5点満点中)	3.5 点	3.6 点	3.7 点

No.	指標の内容	策定時 (平成 29 年度)	実績値 (令和 4 年度)	目標値(指標) (令和 9 年度)
7	「子育て支援の充実」に対する満足度(5点満点中)	3.7 点	3.8 点	3.9 点
8	待機児童数	24 人	3 人	0 人
9	保育士の人数	103 人	113 人	120 人
10	大河原児童センターの利用人数	12,565 人	16,632 人	17,000 人
11	上谷児童館の利用人数	19,727 人	7,350 人	8,000 人
12	子育て支援センターの利用人数 (いきいきプラザ内)	10,188 人	5,996 人	8,000 人
13	ファミリー・サポート・センター 援助活動数(いきいきプラザ内)	13 件	218 件	220 件
14	「福祉の充実」に対する満足度 (5点満点中)	3.3 点	3.3 点	3.4 点
15	老人クラブ登録者数	583 人	392 人	420 人
16	認知症サポーター養成講座の開催回数	7 回	8 回	8 回
17	福祉委員の人数	54 人	49 人	56 人
18	「保険制度の充実」に対する満足度 (5点満点中)	3.3 点	3.4 点	3.5 点
19	被保険者の特定健診の受診率	51.2%	52.3%	60.0%
20	国民健康保険税収納率(現年度分)	93.2%	94.5%	96.0%
21	後期高齢者医療保険料収納率 (現年度分)	—	99.8%	99.9%
22	後期高齢者健康診査(個別健診)の受診率	55.1%	54.2%	55.0%

第3章 都市計画・街づくり

No.	指標の内容	策定時 (平成 29 年度)	実績値 (令和 4 年度)	目標値(指標) (令和 9 年度)
1	「都市施設・公共交通の充実」に対する満足度(5点満点中)	2.9 点	3.1 点	3.3 点
2	「公園・緑地の整備」に対する満足度(5点満点中)	3.2 点	3.3 点	3.4 点
3	公園サポーター数	25 団体	29 団体	31 団体
4	「おおがわら千本桜スポーツパーク」施設利用者数	—	4,000 人	50,000 人
5	「安全で便利な道路の整備と維持管理」に対する満足度(5点満点中)	2.8 点	2.9 点	3.3 点
6	町道の舗装率	81.5%	82.1%	83.0%
7	道路構造物(町管理)の点検率	100%	100%	100%
8	デマンド型乗合タクシー年間延利用者数	14,362 人	13,099 人	15,000 人
9	上水道の充実に対する満足度(5点満点中)	3.5 点	3.8 点	4.0 点
10	有収率 (水が利用者のところに届いている割合)	90.0%	90.8%	91.0%
11	石綿セメント管(老朽管)の残延長	1.1km	0.2km	0.0km
12	「下水道の充実」に対する満足度(5点満点中)	3.4 点	3.5 点	3.6 点
13	汚水整備率 (整備面積/事業認可面積)	86.6%	94.7%	95.8%
14	雨水整備率 (整備面積/事業認可面積)	19.8%	20.3%	21.3%
15	町営住宅管理戸数	267 戸	195 戸	189 戸

第4章 産業・観光

No.	指標の内容	策定時 (平成 29 年度)	実績値 (令和 4 年度)	目標値(指標) (令和 9 年度)
1	「農業支援の充実」に対する満足度 (5 点満点中)	3.3 点	3.0 点	3.3 点
2	農振・農用地内の耕作放棄地面積(ha)	49ha	17.9ha	15ha
3	新規就農者数総数	2 人	4 人	7 人
4	「商業・サービス業の活性化」に対する満足度(5 点満点中)	3.0 点	3.5 点	3.6 点
5	「企業誘致の推進」に対する満足度(5 点満点中)	3.1 点	3.2 点	3.3 点
6	大河原町の商業総売上高	573 億 2,200 万円(H28)	531 億 1,300 万円	増加
7	商工会への加入事業者数(事業所)	541 事業者	514 事業者	550 事業者
8	起業・創業支援につなげた総件数	—	2 件	7 件
9	「観光と地場産品の振興」に対する満足度 (5 点満点中)	3.1 点	3.3 点	3.4 点
10	観光物産協会の会員数	172 会員	223 会員	250 会員
11	観光客年間入込数	421,000 人	155,960 人	430,000 人
12	新しい特産品(新名物)づくり総件数	—	3 件	5 件
13	白石川堤の桜樹本数	892 本	934 本	1,000 本

第5章 学校教育・生涯学習

No.	指標の内容	策定時 (平成 29 年度)	実績値 (令和 4 年度)	目標値(指標) (令和 9 年度)
1	「学校施設・教育内容の充実」に対する満足度(5点満点中)	3.2点	3.5点	3.8点
2	学校施設等の大規模改修・長寿命化対策の実施	1施設	2施設	4施設
3	算数チャレンジ・数学オリンピック大会への参加児童生徒数	—	小 78人 中 30人	小 100人 中 50人
4	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との乖離をプラスにする(小学校の国語、算数の乖離平均)	4.8	0.2	全国平均以上
5	町内小学校図書貸し出し冊数の増加	年間一人あたり 平均 45冊	年間一人あたり 平均 65冊	年間一人あたり 平均 70冊以上
6	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との乖離をプラスにする(中学校の国語、数学の乖離平均)	-4.8	-3.4	全国平均以上
7	町内中学校図書貸し出し冊数の増加	—	年間一人あたり 平均 10.6冊	年間一人あたり 平均 12冊以上
8	給食食品品目数ベースでの地場野菜等利用割合(%)	23.7%	35.3%	40.0%
9	給食残食量の縮減	約 120kg/1日	約 106kg/1日	約 95kg/1日
10	「公民館・図書館の充実」に対する満足度(5点満点中)	3.1点	3.4点	3.8点
11	中央公民館の利用者数	30,435人	10,078人	33,000人
12	金ヶ瀬公民館の利用者数	10,581人	7,033人	12,000人
13	「駅前図書館」貸出資料数(図書・視聴覚資料)	67,340点	70,249点	71,000点
14	「駅前図書館」主催事業参加者数	307人	726人	750人
15	「絵本と学びのへや」年間来館者数	5,131人	10,682人	11,000人
16	「文化・芸術」に対する満足度(5点満点中)	3.3点	3.5点	3.8点
17	文化財企画展・講演会来場者数	—	255人	300人
18	無形文化財団体の活動機会の充実	—	3回	6回

第6章 行政・組織経営

No.	指標の内容	策定時 (平成 29 年度)	実績値 (令和 4 年度)	目標値(指標) (令和 9 年度)
1	「親切で親しまれる窓口サービスの推進」に対する満足度(5点満点中)	3.6 点	3.8 点	4.0 点
2	経常収支比率	88.4%(H28 決算)	96.0%(R4 決算)	95.0%
3	実質公債費比率	0.7%(H27 決算)	1.8%(R4 決算)	5.0%
4	将来負担比率	14.5%(H27 決算)	なし(R4 決算)	20.0%
5	財政力指数	0.61	0.62	0.60
6	町税の収納率	95.3%	97.1%	97.3%
7	「役場組織の行政改革の推進」に対する満足度(5点満点中)	3.1 点	3.2 点	3.3 点
8	指定管理者制度を活用した施設数	3	3	4
9	階層別研修以外の外部研修参加者数	22 人	31 人	35 人

第6次 大河原町長期総合計画・後期基本計画

令和6年3月

発行／大河原町

制作／大河原町政策企画課

〒989-1295 宮城県柴田郡大河原町字新南19番地

TEL 0224-53-2112 FAX 0224-53-3818